

トルコの獣医学教育

平野紀夫（岩手大学農学部獣医学科）

Prof. Dr. Rifki Haziroglu（アンカラ大学獣医学部）

日本獣医師会雑誌 52：829 - 832，1999

著者は1997年11月アンカラ大学獣医学部を訪問した時にJICAの研修生として来日し家畜衛生試験場で病理学を専攻したDr. Haziroglu氏と交流を持った。1998年11月にアンカラを再度訪れた際に同氏と再会した時に、トルコの獣医学教育は19大学で行われており、現在EUが進めている獣医学教育の整備に合わせて、アンカラ大学獣医学部でも教育全般の改善が図られていることを知った。

同氏は本年（1999）1～2月の2ヵ月間日本学術振興会（JSPS）の短期招聘事業の招聘研究者として日本に滞在し日本各地の大学や研究機関を訪れて研究交流を行った。同氏の研究に加え、トルコの紹介のなかで、日本と同様獣医学教育や獣医師数など多くの問題をかかえていることも紹介された。本稿は獣医学教育および獣医学の発展に寄与するとの考えから、同氏から送付されたトルコの獣医学教育に関する資料に基づいて、著者がAnkara大学で見聞きした点も加えてまとめたものである。資料中の疑問点については本年6月に渡欧した際にアンカラに立ち寄り同氏から直接回答を得て作成した。本会会員の皆様にトルコの獣医学の歴史と現情について少しでも理解をいただき、日本でも検討されている獣医学教育の改善に参考になれば幸いである。

トルコの獣医学教育の歴史

トルコの獣医学教育はオスマントルコ帝国の時代に陸軍の獣医学校として1842年イスタンブールに創設された時に始まる。18～19世紀のオスマントルコ帝国では生活の文化・技術の両面で再編、再組織化が行われ、ヨーロッパ諸国との親密な協力関係が多分野で樹立された。その結果として、ヨーロッパ式の文明文化への開化が多くの科学分野や教育面で行われる等とともに文化交流も盛んになされ、ヨーロッパ式の諸制度が取り入れられ始めた。イスタンブールの軍獣医学校では、このような影響を背景にして軍馬以外の動物の伝染性疾病や他の疾患も教育研究の対象とされ始めた。特にトルコでは歴史的に問題となっていた牛疫に関する研究が勢力的に行われ、本病制圧の輝かしい成果を勝ち得た。1848～49年間には軍獣医学校での教育期間は4年間に延長され、1853年にはヨーロッパ式の獣医学教育が導入された。この間、ヨーロッパ文化が市民生活にも浸透し始

め、民間における獣医療の必要性も高まり、同年イスタンブールに民事用の獣医学校が設立された。

1920年には軍獣医学校と民生用の獣医学校は統合されて高等獣医学校が設立された。第一世界大戦敗戦後のトルコでは、後にアタテュルク（トルコの父）と呼ばれる軍人、ムスタファ・ケマルは独立戦争を指導し、この間に計画された種々の改革、いわゆるトルコ革命では政教分離、男女同権、アラビア文字を廃止してラテン文字の採用、トルコ帽の禁止、一夫多妻制の廃止、婦人参政権など生活面全般に国家的改編、改革が行われ1923年10月29日、新政のトルコ共和国の誕生とともにこれらの諸改革は実施された。アタテュルクにより首都はヒッタイト文明の発祥地で知られる中部アナトリアの中の、当時人日わずか6万人のアンカラに制定された。1933年1月ナチス党のヒットラーが首相となった年、ちょうど新生トルコ共和国が成立して10年後の1933年10月29日にはドイツから避難したユダヤ系ドイツ人科学者を中心にして5つの専門分野（農学、農業経済、基礎科学、林学、獣医学）からなる高等農学教育機関がアンカラに設立された。これに伴い、イスタンブールの高等獣医学校はこの機関に吸収され廃止された。

1946年には大学に関する法律が施行され、これに基づいてアンカラ大学が創設され、1948年に高等農業教育機関はアンカラ大学の管理下におかれ獣医学部、農学部、林学部、理学部が創設された。第2番目の獣医学部は1970年にトルコ東部の都市 Elazig の Firat 大学に創設され、第3番目の学部は獣医学校発祥の地、マルマラ地方の中心地、イスタンブール大学に1972年設立され、1978年には Uldag 大学に設立された。これらすべての獣医学部は中央獣医学審議会の同意により開校されたものである。

1981年高等教育審議会に関する法律が施行されるとともに、Selçuk, 100 Yil, Kalkas の各大学にそれぞれ獣医学部が創設された。その後さらに多くの大学に獣医学部が創設され、1983年には Dicle, Adnan Menderes 両大学に、1995年に Erciyes, Mustafa Kemal, Harren, Kirikkale 大学に、1996年には Akdeniz 大学に、1997年には Ataturk, Marmara, Kocatepe, 19 Mayıs, Gazi の5大学にも創設された（表1）。これら15大学の獣医学部は政治的な決定により開設された。1989年には獣医学部における組織と教育教科の統一を目的として、すべての獣医学部の参加による獣医科学に関する教育審議協会（ECVS）が設立されトルコの獣医学教育の充実について検討されている。ECVSによって検討準備された教育計画は1990年から Ankara, Elazig, Istanbul, Selçuk の獣医学部に適用され、その後他大学獣医学部にも適用され教育が行われている。

1990年10月26日 ECVS が獣医学部学生定員の削減と新たな獣医学部の創設の必要性のないことを提言したにもかかわらず12学部が創設され、19獣医学部を数えたが（図1）、1999年1月に Hatay, Gazi, Ataturk, Marmara 大学の獣医学部が突然政府の決定で閉鎖された。

トルコにおける現在の獣医学教育とその基準はWVACVE（World Veterinary Association-Committee of Veterinary Education）、EUACVT（European Union

Advisory Committee on Veterinary Training), E A E V E (European Association of Establishment for Veterinary Education) に基づき整備され実施されつつある。

トルコにおける学部教育

学部教育は年2期制の10期5年制で9月に開講される。首尾よく5年で修了した学生には獣医学士(DVM)と修士号が授与される。EUの国際基準(EAEVE)では授業時間5,000時間もしくはそれ以上を規定しており、それらの半数を実習(2,500時間以上)と定めているが、表2にAnkara大学の教育内容を示す。トルコの現状ではEU基準のようにバランスがとれておらず、合計6,172時間にもかかわらず、実習は2,428時間(39.34%)であり、講義と実習の割合を1:1に近づける努力がなされている。ちなみに現在トルコには獣医師国家試験はなく獣医学部課程修了により獣医師の資格が得られるため、獣医師の資質は卒業した大学の教育により大差が見られる。トルコの獣医学教育システムはアンカラに高等農学教育機関が作られて以来、ドイツの影響を強く受けており学問体系や教員組織はドイツのそれに近い。

大学院教育

大学院(PhD)は表1に示すように5大学の獣医学部に設置されている。大学に関する法律(1981年,法律2547)では、5年間の獣医学部教育を修了したものは大学院進学に修士学位は必要でなく、ただちに博士課程に進学できる。他方、Ankara大学獣医学部では農務省、民間および軍関係の獣医師、地方自治体の獣医師、国立衛生研究所の獣医学者、乳肉および魚類の衛生管理、検査に従事する獣医師等のための特別研修コースが開設されている。

トルコの獣医学部における教員数と学生数

表3に示すように(1998年現在)、8獣医学部においてはすべての学年に学生が在籍しているが、残りの5学部では全学年の学生はまだ在学していない。EAEVE基準による教員と学生の比率は1:7~9である。この基準内の学部はAnkara, Firat, Kalkas, 100 Yilの4大学のみである。Ankara大学獣医学部の教授の多くはドイツ、フランス、アメリカ等に留学して学位を修得している。1933年以来、これまでに多くの外国人を教授として迎えてきた。先に記したがトルコでは男女差別がなく、ちなみに現副学部長は女性であり、細菌学講座の教授5名中、主任教授も女性である。獣医学部全体では10数名の女性教授もしくは助教授がいる。

トルコにおける獣医師の状況

トルコの獣医師数は 10,000 名以上であり、これらのうち、約 4,000 名が他の職域で働いており、この状況の 1 つの原因は獣医師に対する社会的利益に対する不平不満である。残り 6,000 名の獣医師は農務省、地方の衛生センター、地方自治体の公的機関、食品、薬品工業界、養鶏界、環境研究機関、ペット動物の診療所、病院など私的な機関で働いている。毎年の獣医学部卒業生数が 1,000 名以上であり、獣医師数の増加とその多さが獣医師に対する社会的待遇を悪化させていることも事実である。

アンカラ大学獣医学部卒業生の進路

1998 年の例では表 4 に示すように、121 名（うち 42 名女子、以下同様）が卒業し、男子 79 名中 35 名が兵役に、大学院進学は 30 名（20 名）、製薬会社へ 15 名（10 名）、診療や養鶏産業へは 17 名（7 名）、地方都市の衛生行政へ 15 名（5 名）、肉牛や乳牛などの農場経営へは 9 名が進んだ。トルコでは大学に進学しない男子は 20 歳にして 20 カ月の兵役につかねばならないが、大学の学部、専攻等により 8 ~ 16 カ月に短縮される。獣医学部修了者は 16 カ月の兵役となっている。軍務についた 35 名の男子は義務終了後には、ペット診療や農場経営を希望しているそうである。

最後に

トルコの国土は日本の 2 倍以上であり多数の家畜を有しているが、規模の異なる獣医学部があり、毎年約 1,000 名の獣医師が社会に送り出されているために、獣医師の社会的地位を下げていることが Hazirolu 氏より何回も指摘された。同氏の意見では獣医学教育と獣医学の向上には EU 基準を達成すること、大学院の設置された表 1 の 5 大学に統合再編を行うことと、獣医学出身者を議会へ送ることが理想とのことである。1993 年には Ankara 大学においてトルコ獣医学教育 150 年の式典と記念学会が盛大に催され、日本からも数名の大学関係者が参加されたことを同大の獣医学博物館を見学して知った。トルコは日本と同じアルタイ語圏に属し、イスラム教国ながらその教義は緩やかであり、また日露戦争以来、大の親日国である。両国はアジア大陸の東西に位置し、アジア大陸とヨーロッパ大陸間を結ぶボスボラス海峡に架かる鉄橋は日本の ODA により建設されたことも親日の理由の 1 つでもある。現在、アンカラの国立衛生研究所には岩手大学獣医学科出身の前秋田衛研所長、森田盛大博士をチームリーダーとする感染症の診断法と予防法に関する医療技術移転が JICA プロジェクトとして行われている。著者と Hazirolu 氏が森田博士を訪問した際に、技術移転をうけるトルコ側の主任が Hazirolu 氏の教え子であることがわかり皆で驚いた次第である。森田博士らは Hazirolu 氏を通じて同獣医学部との学術

交流も行い始めている。JSPSの外国人招聘事業による Hazirolu 氏の招聘には、東京大学獣医病理学の土井邦雄教授，農水省家畜衛生試験場病態研究部の成田 実上席研究官，岩手大学家畜病理学の岡田幸助教授をはじめ多くの先生方のご援助と協力を得てなされた。この場をかりてお礼申し上げるとともに，本稿を通じて両国の学术交流が少しでも促進することを願っている次第である。

(文責平野)

表 1 トルコにおける獣医学部

大 学	所在地	創立年	卒業生数	1998年 入学者数
Ankara (D)	Ankara	1842	6,284	183
Firat (D)	Elazig	1970	2,060	134
Istanbul (D)	Istanbul	1972	2,411	160
Uldag (D)	Bursa	1978	1,184	96
Selcuk (D)	Konya	1982	754	86
100 Yil	Van	1982	309	68
Kalkas	Kars	1985	287	37
Dicle	Diyarbakir	1993		35
Adnan Menderes	Aydin	1993		33
Erciyes	Kayseri	1995		37
Mustafa Kemal	Hatay	1995		30
Harran	Urfa	1995		30
Kirikkale	Kirikkale	1995		30
Akdeniz	Burdur	1996		32
Kocatepe	Afyon	1997		45
19 Mayıs	Samsun	1997		
Gazi	Corum	1997		
Ataturk	Erzurum	1997		
Marmara	Istanbul	1997		

合計			13,286	1,036
----	--	--	--------	-------

(D) PhDコース 1998年現在

表 2 - 1 Ankara 大学獣医学部における講義と実習等の時間数

Courses	T	P	TP
Anatomy	128	192	320
Biostatistic-Computer	32	64	96
Genetic	48	16	64
Histology	80	64	144
Biochemistry	96	64	160
Physiology	112	80	192
Immunology	48	16	64
Animal husbandry 1	48	80	128
Animal husbandry 2	48	32	80
Fish and Fish Disease	32	32	64
Feed Hygiene and Technology	48	32	80
Introduction to Parasitology and Helminthology	80	64	144
Microbiology	96	64	160
Virology	64	32	96
Animal nutrition and Nutritional Disease	48	48	96
Pharmacology	96	64	160
Entomology	32	32	64
Protozoology	48	32	80
Introduction to Internal Disease	32		32
Introduction to Surgery	32		32
Introduction to Reproduction	32		32

Introduction to Pathology	48	32	80
Radiology	32		32
Anesthesiology and Reanimation	32		32
Pathology	112	64	176
Food Hygiene and Control	64	48	112
Toxicology	32	32	64
Theriogeniology	64		64
Internal Medicine	112		112
Basic of Surgery	64		64
Foot Diseases	48		48
Traumatology and Orthopaedics	48		48
Diseases of Poultry	32	16	48
Clinical Biochemistry	16	16	32
Meat Hygiene and Control	32		32
Artificial Examination and Andrology	80		80
Meat Technology	48	16	64
Milk Hygiene and Technology	48	16	64
Surgery	48		48
Gynecology	48		48
Ruminant Diseases	64		64
Ophtalmology	32		32
Mammary Health and Diseases	32		32
Necropsy and Demonstration	16	16	32
Clinic-Practice		512	512
Emergency-Ambulatory Clinic		100	100
Internship		320	320
Summer Training Period		200	200
Total	2,752	2,396	5,148

T:講義 , P:実習等 , T+ P 講義 + 実習等

表 2 - 2

Courses without Practice	T	P	TP
History of Veterinary Med.	32		32
Embriology	32		32
Diseases of Bee	32		32
Epidemiology	64		64
Economy	64		64
Veterinary Biotechnology	32		32
Laboratory Animal Breeding	32		32
Animal Improvment	32		32
Public Health	32		32
Deontology	32		32
Medical Jurisprudence	32		32
Enviromental Science and Veterinary Medicine	32		32
Total	448		448

Foreign Language, Turkish Lang. and 5 I (Selective Courses)	T	P	TP
Picture, Music, Physical Education		32	32
Foreign Language	320		320
Principles of Ataturk and History of Revolution	64		64
Turkish Language	64		64
Total	448	32	480

Basic Science Courses	T	P	TP
Medical Physics	32		32
Organic Chemistry	32		32
Medical Biology	32		32
Total	96		96

Courses	T(%)	P(%)	TP(%)
Courses with Practice	2,752 (55.61)	2,196(44.96)	4,948
Summer Intern		200	200
Total	2,752 (53.45)	2,396(46.55)	5,148
Courses without Practice	448		448
Total	3,200(57.18)	2,396(42.82)	5,596
Basic Science Courses	96		96
5 I Courses	448	32	480
General Total	3,774(60.66)	2,428(39.34)	6,172

表3 トレコの獣医学部における教員数と学生数

大学	学生数	教授	助教授	PhD	助手	学生数 / 教員数
Ankara	1,016	61	41	37	29	9.9
Firat	540	19	45	7	16	8.4
Istanbul	1,642	25	44	20	34	23.8
Uldag	570	18	31	9	28	11.6
Selcuk	794	23	42	10	29	12.2
100 Yil	460	4	43	3	49	9

Kalkas	254	6	30	2	72	7
Dicle	134	1	5	0	10	22.3
合計	5,410	153	281	88	267	
Adnan Menderes	100	5	10	2	28	6.7
Erciyes	81	1	7	2	19	10.1
Akdeniz	59	1	4	2	3	11.8
Kocatepe	40	2	11	0	21	3.1
Harran	64	2	2	1	23	16
合計	344	11	34	7	94	

1998 年現在

表 4 アンカラ大学獣医学部卒業生の進路

	兵役	大学院進 学	製薬会 社	診療, 養鶏 産業	公衆衛 生	農牧場 経営
男子 79 名	35 名	10 名	5 名	10 名	10 名	9 名
女子 42 名		20 名	10 名	7 名	5 名	
合計 121 名	35 (28.9%)	30 (24.8%)	15 (12.4%)	17 (14.0%)	15 (12.4%)	9 (7.4%)